

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日：2025年11月20日

事業所名：放課後等デイサービス こぼんはうすくら横浜本牧教室

対象人数(保護者)26人 回答者数 25人 回収 96.2%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	2		1			
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	22	1		2			
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	1		3	児発と放デイがもっと区切られていて、聴覚過敏の子供も落ち着いて過ごせる場があると、より良いと思う。 気が散りやすく、片づけやお支度がうまく行きづらい子ですが、こぼんではスムーズにできるよう小さな自信に繋がっています。	児発と放デイが隣り合わせの部屋の為、お互いの教室の音が響きやすく、過敏なお子さんが落ち着かないという状況があります。 この状況を踏まえて、落ち着くことのできる場所(クールダウンスペース)をしっかり設けました。 構造化をしっかり行い、環境を整え、過ごしやすい工夫をいたします。 これからもできることを増やすことができるよう、支援を行ってまいります。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24			1			
適切な 支援の 提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	1		1	1	子供の特性に合わせた『専門性』のある支援かはわからないが、家庭での本人の様子や学校での様子をお伝えし、困り事や希望を話し合った上で個性のある援助を共に考えていただき、実行していただいていると認識している。	今後ご家庭と密に連携をさせていただき、ご家庭に様子をお伺いします。また学校での様子も交えて、三位一体となるような連携の中で、支援を行います。専門性といたしましては、臨床心理士、公認心理師が在籍しており、自己肯定を高めるプログラムや、マインドフルネスのプログラムを行っております。また、発達に関する講演も、行い、より専門性のある教室であるよう精進いたします。
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22	1		2			
	⑦	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	25					丁寧な親との面談で、先生方と親が課題を共有できていると感じます。	これからも、お子さまの特性・個性をしっかり理解をし、また保護者様からもしっかりとお聴き取りをした上で、計画を作成してまいります。
	⑧	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20			5			
	⑨	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21			4			
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	2	1	3	やや固定化されていると思う 毎回プログラムのバラエティが富んでいて、子どもが楽しく活動しています。	ご意見を踏まえて、固定化されないプログラム制作のために、プログラム会議を行っています。5領域をしっかりと取り入れ、かつマンネリ化のない、楽しく活動ができる内容に充実していきたいと思っています。	
	⑪	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	4	6	6	放課後キッズクラブに行くことがあります。	放課後キッズクラブと一緒に活動は今後も予定はしておりません。 地域のお祭り(ボレボレ祭り・ケアプラザのお祭り)や、地域交流の場には、積極的に参加を進めたいと思います。	
	⑫	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25						
	⑬	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24	1					
	⑭	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22		1	2	ペアレントトレーニングはないので、あったら嬉しいです	児発のほうでは、ペアレントトレーニングを行いました。 ご要望もありましたので、放デイでも来年、ペアレントトレーニングを行いたいと思います。 言語聴覚士、臨床心理士による勉強会も実施してまいりますので、ご参加のほうもよろしく願っています。	
保護者 への 説明等	⑮	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	23	1		1			
	⑯	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24			1			
	⑰	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24			1	とても寄り添ってくださり、心強いです。	今後も、企業理念の『寄り添う支援』を職員全員で行い、お子さまに共感できる支援を行っていきます。	
	⑱	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	19	1	2	3	兄弟への支援はない	今後はきょうだいの教室に招いて、きょうだい同士も交流し、より家族間でふれあいの場をつつていきたいと思っています。	
	⑲	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	1		3			
	⑳	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	1		2			
	㉑	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	22		1	2	ブログがこまめに更新されていて楽しい	Instagram等のSNS発信を行い、より日々の活動を保護者様も楽しめるよう、進めたいと思います。 自己評価の結果も、ホームページだけではなく、保護者様にもしっかりと発信してまいります。	
	㉒	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	1		2			
	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	1		3	常に避難訓練をやっている	毎月、避難訓練は行っております。 事業所では、各種のマニュアルを策定しておりますが、保護者様への周知が足りておらず、申し訳ございません。 今後は改善いたします。	
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24			1			
非常時 等の 対応	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	1		2	安全確保はしてくださっていると思うが周知はされていない	保護者様への周知を、しっかり行っていこう、改善いたします。	
	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	1		4	怪我して帰ってきてても、スタッフさんが気づいていない時がある	このようなことがあり、大変申し訳なく思っております。 このようなことがないよう、職員全員で再度お子さまの安全確認を周知をし、保護者様にご心配のない支援を行ってまいります。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	㊴	こどもは安心感をもって通所していますか。	24	1					
	㊵	こどもは通所を楽しみにしていますか。	24	1			本人に対して嫌なことをしてくる児童に対し、嫌悪感を持ち、『行くのが嫌だ』と表出することがある。	どちらのお子さまに対しても、保護者様に状況の報告をし、支援中には、それぞれのお子さまが良い環境で過ごせるよう、職員が配慮していくよう、工夫や改善を行います。	
	㊶	事業所の支援に満足していますか。	24			1			

公表日

2025年

11月

20日

事業所名

こぼんはうすくら 横浜本牧教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1		今後年齢が上がるにつれてスペースの確保が必要。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	3		・当日欠勤等により職員の人数が不足しがち ・足りないと感じる
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		0 バーテーションを活用し、活動の場所を明確化している。視覚的に刺激が少ない環境での学習支援を行っている。	・トイレに段差はあるが、それ以外は使いやすい環境と感じる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		0 毎日の掃除で、清潔が保たれている。運動のできるスペースを広くとり、学習がバーテーションで構造化している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		0 必要に応じて、クールダウンスペースが個室で設けられている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		1 午後出勤のスタッフが参加できるよう、午後1時からミーティングを行っている。振り返りも支援後に必ず行っている。	日々の活動時に、目標の把握をもっと職員がわかるよう、改善が必要
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		1 社員会議にて業務改善についての会議を行っている。	パート職員も含め、周知を行う
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		1	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4		3	行えていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		2 こぼんカレッジの開催を行い、資質の向上に努めている。スタッフが外部研修に参加している。	療育に関する研修・BCPに関する研修がもっと必要と感じる。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		0 行えている。	SSTプログラムの充実が必要と感じる。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		0 児童発達支援管理責任者が、在宅勤務を行い、集中して作成する環境で取り組むことができている。	電話対応、スタッフの指導、保護者対応等で、作成時間が取れない時がある。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		0 個別支援会議を、午後1時からの開催することで、より多くの職員からの意見を抽出し、作成を行っている。	言語、心理の専門家が保護者面談に参加することで、専門性のある計画を作成する
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		1 個別支援会議にて、共有を行っている。毎日の振り返りで、支援内容について児発管が計画に沿ったアドバイスを職員に行っている。	週1回出勤の職員へ、日々の支援について周知が難しい。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		1 職員が毎日、お子さまの行動観察を行い、振り返りを行うことで、児発管に共有ができています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		0 個別支援計画にて、設定されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		0 プログラム会議を社員で行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		0	保護者からのご指摘もあった為、固定化しないよう改善する。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		0 基本的には集団療育を行っているが、その中で、個別活動もしっかり行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		0 しっかり行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		1 終了後に、スタッフが集まりお子さまの支援について、良かった点でお互いを高め、また課題について、支援の仕方を共有しチームワークの向上に努めている。	残業につながってしまう場合があるので、時間の制限を設ける。

適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	毎日記録を行い、評価につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	行えている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	6	1		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児童発達支援管理責任者が、状況を書面にまとめて会議に出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	各学校に出向き、授業の参観・先生方との連携を行っている。 家庭支援課や、相談支援事業所と密に連携をとっている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	適切に行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	4		・わかりません ・今後必要に応じて情報共有していく。 ・卒業する利用者、した利用者はいない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1		今後、療育センターとの連携の強化が必要とを感じる。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	地域のお祭りに参加している。	地域の交流機会の情報を集め、もっと機会を増やし、地域活動に参加する必要がある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3		今後、積極的に参加する必要がある。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	必要に応じて、電話をしたり、面談を行い共通理解に努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0		次年度は、ペアレントトレーニングや、保護者の集いを年間で、計画する必要がある。保護者様からの要望もありました。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に丁寧な説明を行っている。	2025年8月に管理者が変わったため、運営規定等の把握が必要。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	児発管が、しっかりと意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	行っています。 不登校など、その分野に詳しい職員が相談援助を行い、悩みの改善に努めている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	7	0	保護者の集いは定期的に行っている。	きょうだい同士の交流が行えていないので、必要。 保護者が多く参加できる日程で実施する必要がある。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	事業所だけではなく、横浜市・家庭支援課ときには、法律専門家との連携を行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0		SNSでは、今後インスタグラムでの情報発信を予定しており、保護者様に教室の内容を発信していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	筆談や、ジェスチャー、絵カードを使用している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6		今後そのような機会をつくっていきたい。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1		マニュアルは作成しているが、職員やご家族への周知は不十分。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1	定期的に行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	1	確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	面談時にしっかり保護者に確認をしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		ご家族への周知は不十分。今後改善していく必要がある。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		ヒヤリハットの申告が少ない。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	行えている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	必要な方には、十分に説明の上、計画に記載している。	